

国際的な資源管理ネットワーク構築に向けた現場対応型漁業モニタリング・資源評価システム開発事業

【令和2年度予算概算決定額 8（－）百万円】

<対策のポイント>

- 東南アジアにおける小規模零細漁業の管理を効果的に推進するため、漁獲情報などの入力から解析結果の図示までをリアルタイムに行う現場対応型漁業モニタリング・資源評価システムを開発します。
- 開発したシステムを効果的に社会実装に繋げるため、PICESの枠組みを活用した人材育成と国際的な社会ネットワークの構築を推進します。

<政策目標>

- 東南アジアでの水産資源評価・漁業管理の取組を支援し、国際的な資源評価の現場における我が国のプレゼンスを強化
- 資源と海洋に関する科学的知見を地域間、関係国間で共有し、我が国の漁業の持続性確保や水産物の安定供給に貢献

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 漁業・環境データ収集アプリケーションの拡充

- スマートフォンからデータを入力するための情報収集アプリケーション（FishGISと命名）について、気象データ等を入力できるよう拡充を図ります。

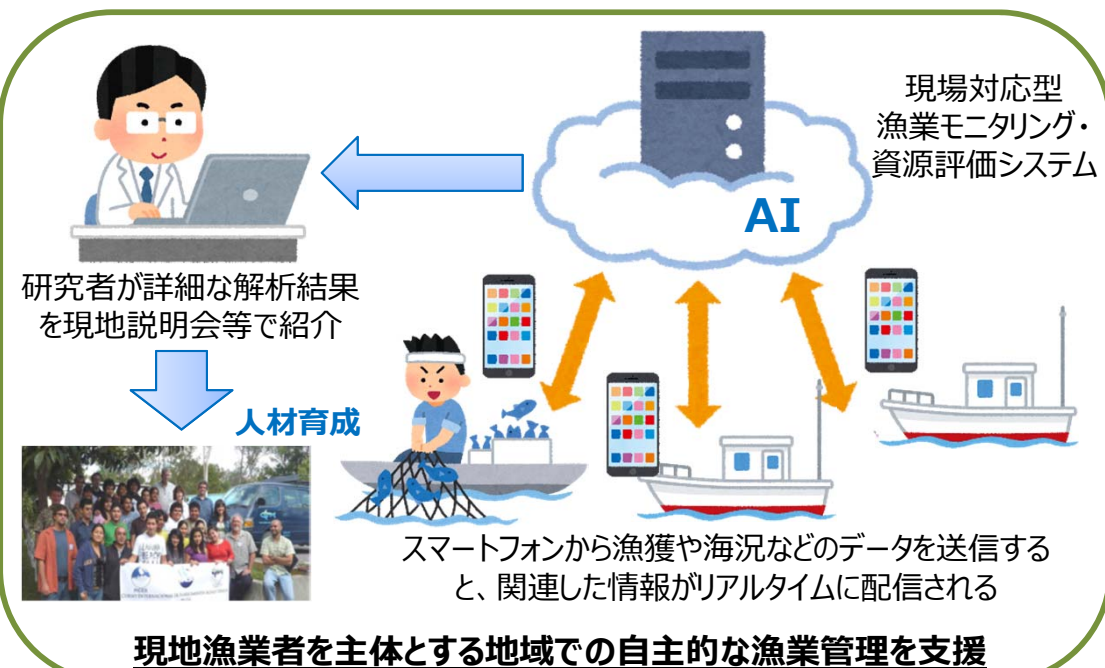
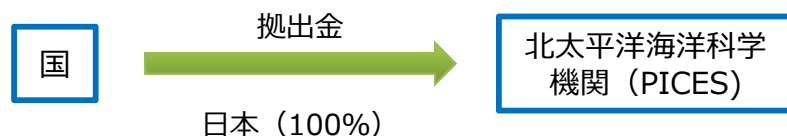
2. AIを活用した現場対応型リアルタイム漁業モニタリング・資源評価システムの開発

- 漁獲情報などのデータをFishGISから入力すると、ほぼリアルタイムで漁業の状況や環境指標を地図上に表示するようなユーザーフレンドリーなデータ解析システムを開発します。

3. 開発したシステムの社会実装に向けた人材育成とネットワーク構築

- 漁業生産の安定化につながる取組を支援するため、PICES専門家を現地に派遣し、現地説明会やワークショップを開催します。
- 資源と海洋に関する科学的知見を広く共有するためのシステム基盤と国際的な社会ネットワークの構築に取り組みます。

<事業の流れ>



東南アジアでの漁業管理の推進
情報共有のための国際ネット
ワークの構築

国際的プレゼンスの強化
漁業の持続性確保や水産物
の安定供給への貢献

【お問い合わせ先】（１）大臣官房海外投資・協力グループ（03-3502-5913）
（２）水産庁研究指導課（03-3502-0358）